

経 営 方 針

1. 経営の基本方針

当社は、「誠意」と「創意」を経営信条とし、この信条に溢れた仕事こそが、人々の心からの満足と共感を得られ、真の社会への貢献につながると考えております。また、株主や取引先、社員などすべての協力者との相互繁栄を期すことを経営理念に掲げ、日々事業活動に取り組んでいます。

2. 中長期的な経営戦略と会社の対処すべき課題

当社は創業以来、常に時代を先取りする独自商品の開発を通じて、社会への貢献を果たしてきました。21世紀に入り、世界経済の減速やIT需要の低迷など、経営環境が大きく変化する中、当社は「先進のエレクトロニクス技術を駆使した独自デバイスと特長商品を創出し、お客様に新しい生活提案と満足を提供する」という方針のもと、“価値あるオンリーワン企業”をめざし、下記事業戦略に取り組んでいます。

(1) 世界市場を視野に入れた商品事業の拡充とブランド価値の向上

液晶カラーテレビは、新たに三重県亀山市において、大型液晶カラーテレビを一貫生産する最新鋭工場を建設し、世界市場での一層の展開強化を図ります。また、携帯電話や1ビットデジタルオーディオの拡充を進めるほか、白物家電についても、プラズマクラスターイオン商品群など、当社独自のグリーンデバイスを核とした新たな高付加価値商品の開発に取り組んでいきます。こうした新時代に相応しいオンリーワン商品の創出により、“SHARP”ブランドの一層の価値向上に努めてまいります。

(2) オンリーワン商品を創出する独自デバイスの開発強化

液晶事業では、「システム液晶」など、他社の追随を許さないオンリーワン液晶技術の確立や独自生産技術の構築、特許戦略など、あらゆる分野に亘り、より一層の競争力強化を図ります。また、IC・電子部品事業では、事業の“選択と集中”を加速させ、成長分野での特長デバイスの開発強化に努めるほか、地球環境への関心の高まりと共に成長が期待される太陽光発電システム等、世界No.1デバイスの積極的な拡大に取り組んでいきます。

(3) 環境経営の実践と品質・安全性の向上

創エネルギー・省エネルギー・省資源を実現する商品やデバイスの開発と、環境負荷の低減や資源効率性の向上など“環境経営”の実践により、地球環境保全に向けた取り組みを進めています。また、商品の品質・安全性の確保を図り、顧客満足の一層の向上をめざしております。

(4) 社員の活力と企業の競争力を高める人事制度の確立

変革の時代を切り拓くリーダー人材の育成やスキルアップ・スキルチェンジ教育の充実、さらには、成果主義の徹底や労働市場の変化に適應した処遇制度の改革を計画的に推し進め、社員の能力と活力の向上を図ってまいります。

こうした事業戦略の展開により、収益性、株主価値、資金効率の面から企業価値の拡大を図るため、重点経営指標として、ROA、ROE、フリーキャッシュフローの向上をめざすと共に、税引き後営業利益から投下資本コストを差引いたPCC（プロフィット・アフター・キャピタル・コスト）の導入により、収益と資本の両面から、各事業部門の評価を行い、事業の再構築を進めております。

3. 利益配分に関する基本方針

当社は、株主皆様への利益還元を経営上の最重要課題の一つと考え、安定配当の維持を基本としながら、業績と財務状況等を総合的に勘案し、増配、あるいは株式分割などの株主還元策を実施してまいりました。また、株主資本の運用効率を高め、株主価値の一層の向上を図るため、資本準備金による自己株式の取得・消却を進めてきましたが、引き続き、金庫株制度の活用も計画してまいります。そのほか、内部留保資金につきましては、主に将来の成長分野への設備投資や特長商品及び独自デバイスの開発、さらには海外展開や環境対策などに活用すると共に、キャッシュフロー重視の経営を推進し、株主皆様のご期待にお応えしてまいります。

4. 投資単位の引下げに関する考え方及び方針等

当社は、個人株主の増加を資本政策上の重要課題と認識しております。そのため、利益還元の充実に加え、個人株主に分かりやすい事業報告書の作成やホームページの拡充などの対応を進めてまいりました。投資単位の引下げにつきましては、株式市場活性化のための有用な施策の一つではありますが、一方で多額の費用がかかることが想定されますので、当社としては、今後、市場の要請や当社株価の推移等を勘案して、慎重に対処したいと考えております。